

# シナプス(Synapse)



格付: **C-4**



ファンド・マネージャーが「株主になりたい」日本企業の株式に投資を行う投資信託です。

**属性** 投資信託      **対象** 日本の上場株式等      **利回り** 1.42%

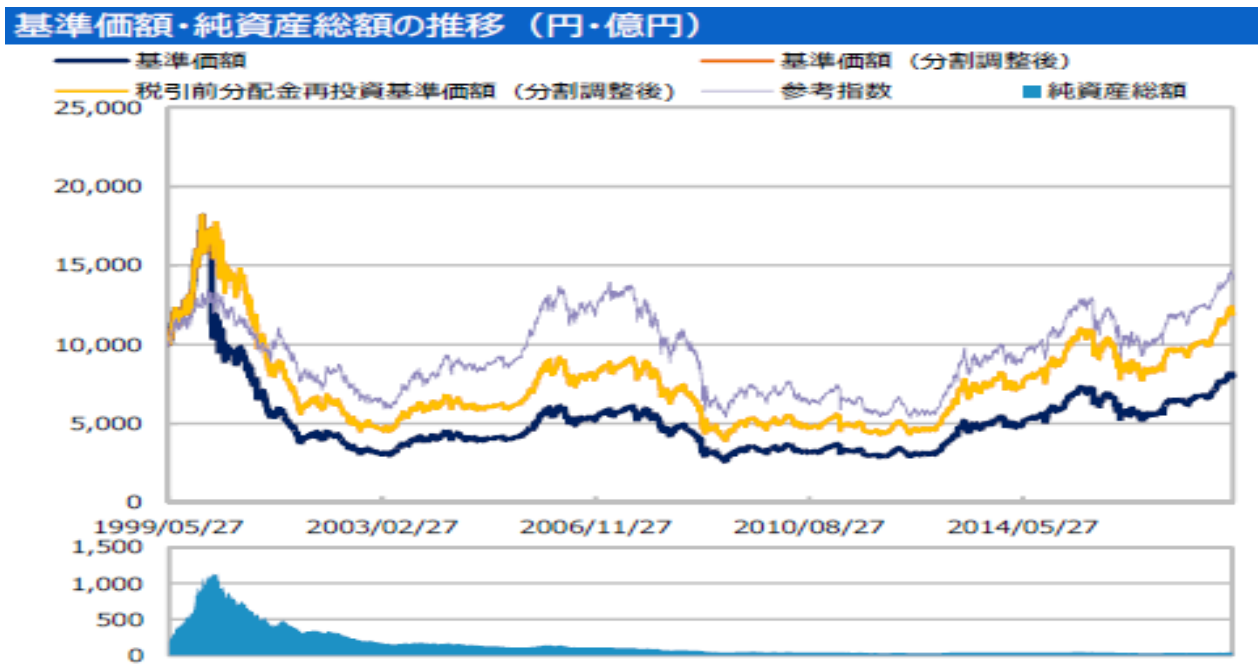
**概要**  
「株主として企業を所有することに満足感、幸福感をもてる企業」「経営者の示すビジョンに賛同できる企業」「経営者が『会社は株主のもの』と理解している企業」を発掘し、長期的視点で将来像の描ける企業に投資。信託財産の積極的な成長を目指す。3月決算。

**リスク**

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	—
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元: 三井住友アセットマネジメント株式会社  
Web: <http://www.smam-ip.com/index.html>  
所在地: 東京都港区愛宕二丁目5番1号  
愛宕グリーンヒルズMORIタワー 28階



## Summary

1月初旬は、堅調な海外の景気指標が好感され、海外株式市場に連れて国内株式市場も上昇。その後は米ドル安・円高の進行や米長期金利の上昇を嫌気した米国株式市場の上昇一服を背景に、株価は上値の重い展開となった。今後の国内株式市場は、良好な世界景気を背景に製造業を中心とした好調な企業決算を再評価する動きが想定される一方、米長期金利の動向や短期的に過熱感が高まっている米国株式市場の調整リスクもあり、値動きの荒い動きを予想。さらにリスク要因として、中国経済の下振れ、北朝鮮情勢などを挙げた。以降の運用方針に関しては、外需については、良好な世界景気を背景とした数量成長により、製造業を中心とした業績改善期待が株価をサポートすると想定し、積極的なスタンスを維持するものの、過熱感の高まった銘柄の売却を行うなど、積極度合いを縮小。内需については、人件費や物流費などのコスト増に留意し、高水準の受注などを背景に来期増収増益確度が高く、相対的に割安な銘柄を選好。金融については、米欧中央銀行による金融政策正常化への取り組みが進むことや、堅調な世界景気を背景に賃金・物価の持ち直しを想定し、積極的なスタンスを基本とする傍ら、米長期金利の動向に留意し、機動的な対応を行うとしている。これらを踏まえ、リターン面を「C-」、リスクを「4」と判断する。

Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。